

CAP TYPE PORTABLE TELEPHONE

Patent Number: JP10164202
 Publication date: 1998-06-19
 Inventor(s): UEDA HIDETOSHI
 Applicant(s):: UEDA HIDETOSHI
 Requested Patent: ☐ JP10164202
 Application Number: JP19960352502 19961125
 Priority Number(s):
 IPC Classification: H04M1/05 ; H04B1/38 ; H04M1/02
 EC Classification:
 Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve operability during driving a car by mounting parts of a portable telephone inside the a cap, fastening a microphone along the edge of the brim of the cap, providing a switch that becomes communicable when it is lowered to the mouth and providing a dial that has one operation feature on a transmitting part.

SOLUTION: Parts of a portable telephone are divided into two between left and right and incorporated inside a cap, a small microphone is extended from a right receiving part and is received by a fastener provided along a brim of the cap in a standby state. When a call tone rings, the microphone is lowered to a mouth with a left hand, a switch 3 is turned on to be in a communication state. An earphone 2 which is moved and held at an ear in a communication state is provided on a supporting shaft that fixes the microphone 1 at the same time. A transmitting part is placed to the right, a dial 4 which has one operation feature is fixed, and a film-shaped antenna 6 and a circular fixed antenna 7 are provided around the top of the cap. This telephone can be operated with one hand to help improve operability and also prevent head damage in case of an accident, etc.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

特開平10-164202

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月19日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I	
H 0 4 M 1/05		H 0 4 M 1/05	A
H 0 4 B 1/38		H 0 4 B 1/38	
H 0 4 M 1/02		H 0 4 M 1/02	C

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-352502

(22) 出願日 平成8年(1996)11月25日

(71) 出願人 597003125

植田 秀敏

大阪市城東区関目1丁目11番A-111号

(72) 発明者 植田 秀敏

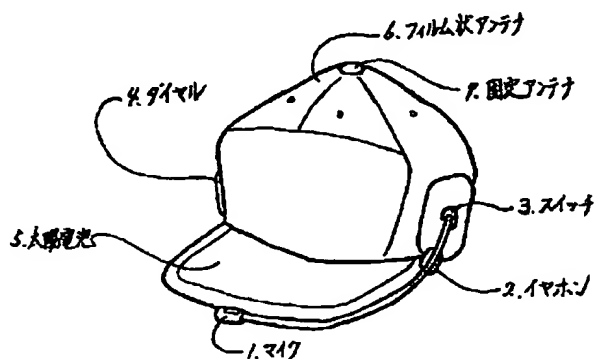
大阪市城東区関目1丁目11番A-111号

(54) 【発明の名称】 帽子型携帯電話

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話が片手で瞬時にスイッチが入れられフリーハンドで通話ができるようにした帽子型携帯電話を提供する。

【解決手段】 帽子と携帯電話を合体して、マイク(1)の上げ下げによってスイッチ(3)が瞬時に入れられ、太陽電池(5)によって充電できることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 帽子の内側に携帯電話の部品を内蔵し、帽子のつばのふちに沿ってマイク(1)が収納でき、それを上げ下げすることによって待機、又は通話できるスイッチ(3)と、ワンタッチでかけられるダイヤル(4)、充電機能の有る太陽電池(5)、折曲げ可能なフィルム状のアンテナ(6)を設けた帽子型携帯電話。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、携帯電話、PHSが難なくスムーズに通話出来るようにした帽子型携帯電話に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より携帯電話、PHSを使用する時は、片手で本体を持ち、もう一方の手でスイッチ等の操作を行っている為、自動車等の運転中は、ハンドル操作を誤ったり、注意散漫となり交通事故の原因として社会問題となっている。また、手の不自由な人や作業中で両手のふさがっている人々にとって大変不便なところがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような不便な状況があった。

イ、運転中に呼出し音が鳴った時や使用時、前方の安全を確認しつつ携帯電話の本体を捜さなければならない。

ロ、片手で本体を持ってから、なおかつもう一方の手でスイッチON又はOFFの操作をしなければならない。

ハ、通話中、片手で受話器をずっと耳元に押し当てていなければならない。

ニ、携帯電話の特長である小形軽量化の為、かえって置忘れが多くなった。

本発明は、以上の欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【問題を解決するための手段】帽子の内側に携帯電話の部品を内蔵、組込んで一体化する。その部品は、向かって右側を着信機能の受信部、左側を発信機能の送信部とする。受信部からは、マイク(1)及びイヤホン(2)の付いた支軸が伸びており、それが帽子のつばに収まっているときは待機中、口元まで下ろすと通話可能となるスイッチ(3)を設ける。送信部には、ボタンを1つ、もしくは2つ押すだけで発信することが出来るワンタッチダイヤル機能の付いたダイヤル(4)を設けることによって極力、手を使わず発信出来るようにする。また、帽子のつばの表面に太陽電池(5)を張付け充電が出来るようにし、さらに頭頂部付近には折曲げ可能なフィルム状アンテナ(6)を敷き詰める。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を説明する。

(イ)布あるいは皮製の帽子の内側に携帯電話の部品を左右の二つに振分けて内蔵し一体化する。

(ロ)向かって右側の受信部から帽子のつばに沿って先端に小型のマイク(1)が付いたステンレス製の支軸を伸ばし、帽子のつばの先端にはプラスチック製の止め具を設置し、マイクがそれに容易に収まったり、はずれるようにする。

(ハ)マイク(1)が帽子のつばに収まっているときには待機中の状態になり、呼出し音が鳴ったときには左手でマイク(1)を口元まで下ろせば通話出来る状態になるスイッチ(3)を受信部中央部に設ける。

(ニ)マイク(1)のついている支軸には下ろした時にちょうど耳元にあたる所にイヤホン(2)を設置する。

(ホ)向かって左側の送信部には、帽子を脱がずに片手で操作出来るワンタッチもしくはツータッチ機能の付いたダイヤル(4)を設置する。

(ヘ)帽子のつばの表面に、太陽電池(5)を敷き詰め、それによって常に自然に充電が出来るようにする。

(ト)帽子の表面、頭頂部付近に多少の折曲げが可能なフィルム状アンテナ(6)と、その中心に円形の固定アンテナ(7)をもうける。本発明は以上のような構造で、これを使用するときは、普通の帽子と同様に真正面に向くように、また適度な深さで頭にかぶり、呼出し音が鳴ったときには、マイク(1)を片手で口元まで下ろすだけでスイッチ(2)が通話状態になり、瞬時に会話する事が可能になる。用件が済めばマイク(1)をまた元の位置である帽子のつばに収納すれば、待機中の状態にもどる。

【0006】

【発明の効果】本発明を使用することによって、片手で瞬時にスイッチが入れられ、また両手が使えるので、手の離せないときや運転中に便利であり、交通事故も減る。もし運転中に事故を起こしてフロントガラスに突っ込むようなことが有っても、頭部損傷の予防にもなる。常に頭に被るものなので、置き忘れの心配もなくなり、ますます軽量化されているのでスポーティでも有り、また若い人々にとっても、人気スポーツメーカーや野球、サッカーチーム等とタイアップすれば、ファッションブルな帽子とブームの携帯電話との組合せは相乗効果で売上げの期待も出来るし、身体に障害のある方々にも手軽に利用できるもので、福祉の充実に役立つ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図

【図2】本発明の分解斜視図

【図3】本発明の使用状態を示す斜視図

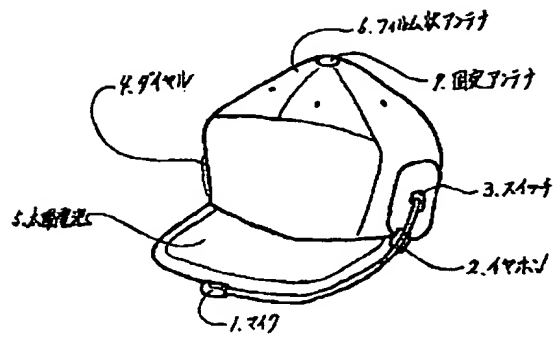
【符号の説明】

- 1 マイク
- 2 イヤホン
- 3 スイッチ
- 4 ダイヤル

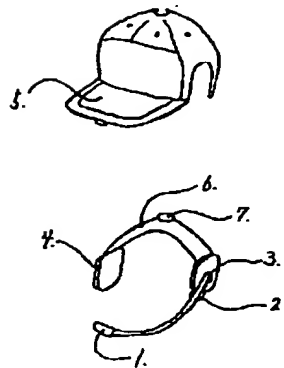
- 5 太陽電池
6 フィルム状アンテナ

- 7 固定のアンテナ

【図1】



【図2】



【図3】

